

これまでの計測結果の比較

撮影日	新たな陸地の面積	最高標高	新たに噴出した溶岩等の海面上の体積
②平成25年12月17日 (「くにかぜⅢ」による撮影)	0.097 km ²	39 m	80万m ³
③平成26年2月16日 (「くにかぜⅢ」による撮影)	0.51 km ²	66 m	790万m ³
④平成26年3月22日 (UAVによる撮影)	0.67 km ²	71 m	1,130万m ³
⑤平成26年7月4日 (UAVによる撮影)	1.08 km ²	74 m	2,220万m ³
⑥平成26年12月4日 (「くにかぜⅢ」による撮影)	2.27 km ²	110 m	4,970万m ³
⑧平成27年3月1日 (UAVによる撮影)	2.55 km ²	137 m	6,446万m ³
⑨平成27年7月28日 (UAVによる撮影)	2.74 km ²	150 m	8,511万m ³
⑩平成27年12月9日 (「くにかぜⅢ」による撮影)	2.71 km ²	142 m	8,801万m ³
⑪平成28年3月3日 (UAVによる撮影)	2.73 km ²	142 m	8,721万m ³
⑫平成28年7月25日 (UAVによる撮影)	2.75 km ²	142 m	8,722万m ³
⑬平成28年12月20日 (「くにかぜⅢ」による撮影)	2.72 km ²	143 m	8,978万m ³
⑭平成30年1月17日 今回の(「くにかぜⅢ」による撮影)	2.95 km ²	160 m	9,992万m ³

※ 平成28年12月20日の「新たな陸地の面積」及び「最高標高」以外の全ての数値は参考値である。

※ 「新たな陸地の面積」は、平成25年12月17日の撮影分以外は、旧島部分を含む(西之島の旧島の面積: 0.29km²)

※ 平成25年12月4日と平成26年12月10日に撮影した写真では、雲や噴煙が多く立体的に把握することが困難であり、一部のデータが算出不能であった。